

尙今顧問間の遺骸はシンガポールに於て火葬に委し、箱根丸にて内地に向つたが、途中、五月十五日上海に於て生駒丸に移乗、十八日朝門司に歸着した。こへて二十二日、八幡に於て日本製鐵労働組合聯合會主催の下に労働葬を営まれたが、書記長米窪滿亮氏組合會議を代表して之に参列し、弔辭を贈りてその英靈を弔つた。

第十七回國際労働總會の成果

十七回國際労働總會は昭和八年六月八日から七月一日まで瑞西ジュネツヅに開かれ、デ・ミケリス氏(伊太利政府代表)の議長の下に前後二十六回の本會議を開いて各種の議案を審議した結果、新に條約案七個、勸告二個を採擇した。かくて國際労働總會がこれまでに採擇した國際規制の總数は條約案四十個、勸告四十三個を算するに至つた。尙第十七回國際労働總會がその正式議題について行つた決定を列舉すれば左の如くである。

養老癱疾及寡婦孤兒保險(議題第一)

この問題については左の六個の條約案及び二個の勸告が採擇せられた。

- 一、強制養老保險條約案(商工業)
- 一、強制養老保險條約案(農業)
- 一、強制癱疾保險條約案(商工業)
- 一、強制癱疾保險條約案(農業)
- 一、強制寡婦孤兒保險條約案(商工業)
- 一、強制寡婦孤兒保險條約案(農業)

一、癱疾寡婦孤兒保險の一般原告に關する勸告

かくて國際労働立法に於ける社會保險の體系は災害、疾病、養老、癱疾、遺族と漸次完成せられ、あとは明年の總會に依る失業保險の規制を俟つばかりとなつた。

總會は移民たる被保險者の年金權の保存の問題を一九三四年の總會の議題に上することに決定した。

有料職業紹介所の廢止(議題第二)

この議題については左の通り條約案及び勸告が各一個採擇せられた。

- 一、有料職業紹介所の廢止に關する條約案
- 一、職業紹介所に關する勸告

條約案はこれを批准した國が三年以内に營利を目的とする有料職業紹介所を廢止すべきことを規定し、營利と非營利との有料職業紹介所につき各々監督の措置を規定してゐる。

失業保險及各種形態の失業者扶助(議題第三)

この問題は第二次討議の段階にあるので、總會は失業保險制度を始め各種の形態の失業者給付制度について明年の總會のため條約案及び之を補なう勸告を準備する目的にて諸國政府に質問すべきことを決定し、質問事項の細目を指定した。

自働式板硝子工場に於ける休憩及番方交替の方法(議題第四)

第四議題も第一次討議を行はれた。總會は討議の末、この問題を明年の總會の議題に上程するに決定すると共に、諸國政府に質問すべき事項の細目を定めたのであつた。恐らくこの問題についても條約案が準備せられることゝなる。